

一般演題 4 O4-05**医療連携室を通じた高気圧酸素治療の紹介**

○小松利明

社会医療法人財団 正明会 山田記念病院

当施設は東京都墨田区の二次救急指定病院である。当施設における高気圧酸素治療装置は1987年に設置されたバロテック羽生田製造、鋼鉄製マニュアルタイプの酸素加圧式第一種装置である。施設周辺での高気圧酸素治療の認知は低かった模様で、当学会HP上に学会認定施設として掲載されたことで存在が知られるようになったが、限定的で、紹介元の医師が検索して当院の存在を知り紹介されるような状況であった。そこで、医療連携室を通じて高気圧酸素治療の存在を近隣医療機関に示し、適応患者の紹介をお願いすることにより高気圧酸素治療の活用を図っていただくことを目的とした。過去、当院への高気圧酸素治療の問合せや紹介下さった施設へ架電し、医療連携室で考案作成された案内文に沿った提案を行い、希望された施設にはその後、FAX送信をする、という流れで行った。電話及びFAX送信をした施設数は病院14施設、クリニックを合わせて29施設あり、今春までに4施設の病院から紹介があった。クリニック15施設からの紹介が0であることは、患者様が先ず最寄りのクリニックを受診され、受診されたクリニックから連携の病院へ紹介し、そこから当方への紹介というステップを踏んでいるためと思われる。過去3年間での紹介された疾患の内訳は、令和4年度下顎骨壊死1放射線性膀胱炎1重症下肢虚血1、令和5年度突発性難聴4放射線性膀胱炎1放射線性直腸炎1、令和6年度突発性難聴7放射線性膀胱炎1で漸増傾向にある。近隣施設への働きかけが高気圧酸素の認知度を高め、疾患の軽減や治療期間の短縮につながる評価が得られればよいと考える。